

— はばたけ凌雲の志 —



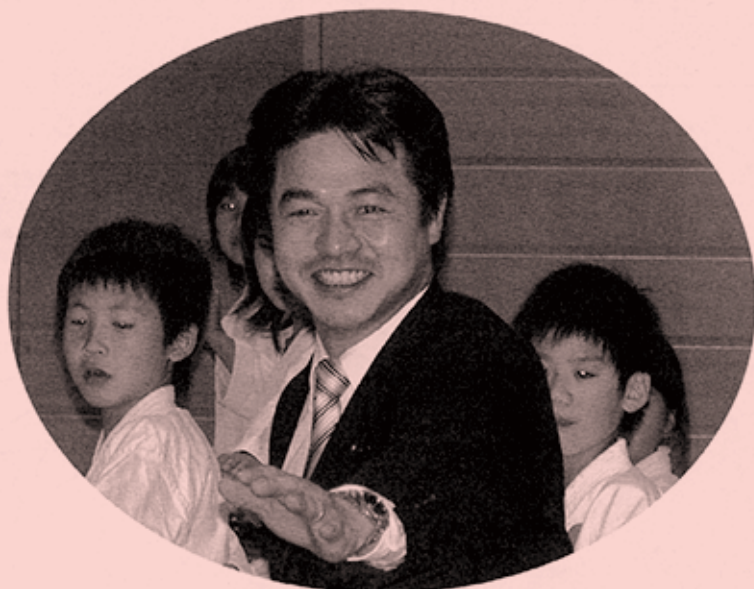
県議会レポート
第9号
発行

なつの元志後援会
射水市北野1558-14
TEL(0766)52-6316
FAX(0766)52-6317

発行責任者
菅野 清人
平成18年6月15日

《<http://www.motoshi-n.jp/>》

夢の実現に向かって、
いよいよシフトアップ！



10年後の射水市を
切り拓いていけるのは、
なつの元志、私だけです。

平成15年4月、皆さま方のご支援をいただき、富山県議会議員に当選させていただいて早3年が経ちました。この間、市町村合併や少子化に伴う人口減少時代の到来など、社会は大きく変化しました。こうした流れは、今後も引き続き、私たちの暮らしに大きな変化をもたらすことが予想されます。10年後の地域社会、私たちの射水市はどのようなようになっていくべきなのでしょうか。今後、どのような街を創造していくべきなのでしょう。ここに私の意見を述べさせていただきます。皆さまと一緒に考えていきたいと思っています。

なつこの宣言1

教育の原点は家庭にあり

いつの時代も、まちづくりの根幹は人づくりです。人づくりといえは、まず教育問題があげられますが、教育に関しては学校ばかりがクローズアップされがちです。しかし、そもそも教育の原点は家庭教育にあります。子どもたちの生活の基本となる家庭、そして、その家庭の集合体である地域が一緒になって、子どもたちが安心して、将来の夢に向かって邁進できる環境を創っていかねばなりません。

地域コミュニティが必要

そのためには、地域コミュニティの充実が不可欠です。地域には、これまでコミュニティを形成していく上で、重要な役割を担ってきたものがあります。例えば各町内で行われている獅子舞やイベント、地域清

人を育てる

子どもたちを育てるのは、地域です。

掃といったボランティア活動などですが、こうした地域の活動を守り、発展させながら、子どもたちが積極的に参加、協力できる仕組みを作っていくことで、地域とのつながり、各家庭同士のつながり、世代を越えた大人と子どものつながりを、より強く、より深いものへとしていくことができると思います。

教育の場はいたるところに

こうした土壌をベースとした上で、家庭・地域・学校が一体となって、子どもたちが主役になれる教育環境を創っていかねばなりません。地域を愛し、人を思いやる心をもって仕事や子育て、ボランティア活動などに積極的に取り組んでいく。そんな若者たちを育てていくことが新しい時代を創っていくための原動力になると私は考えています。

射水市の人口推移

		平成15年	平成16年	平成17年
人口及び世帯数	人口	94,232	94,240	94,106
	世帯数	29,604	30,063	30,104
	資料及び期日	(人口移動調査：12/31)	(人口移動調査：12/31)	(国勢調査速報値：10/1)
自然動態	出生数	882	827	785
	死亡数	828	914	817
	増減計	54	△87	△32

富山県の人口推移

		平成15年	平成16年	平成17年
人口及び世帯数	人口	1,116,926	1,116,306	1,114,692
	世帯数	368,833	372,868	376,856
	資料及び期日	(人口移動調査：10/1)	(人口移動調査：10/1)	(人口移動調査：10/1)
自然動態	出生数	9,543	9,566	9,150
	死亡数	10,445	10,426	10,766
	増減計	△902	△860	△1,616

夏野元志活動の歩み



H16.9.23 第2回ゴルフ大会



H15.9.8 富聖会
(橋本聖子先生と)



H15.6初議会



なつの宣言3

行政の力はもう、限界

これからの社会は、これまでのように行政があの手、この手を差し伸べてくれた社会から、住民と行政が協力し合ってまちをつくっていく社会へと変わっていかなくてはなりません。

人口減少社会を迎え、右肩上がりの時代に作り上げた「負の遺産」を清算しつつ、持続可能な社会を作り上げていくためには、行政だけの力では、もはや限界が見え始めているからです。

このまちに住んでいる

という誇り

今こそ、住民の力とアイデアと「自分たちのまちは自分たちで作っていく」という意識改革が必要です。例えば、まちづくりにおいて、環境だけは綺麗に整備されていても地域住民が無関心なままと、いたるところで「よう来られたね。また、来られ」と声を掛けていただけると、観光客はどちらのまちに行きたいと思ってしまうか。

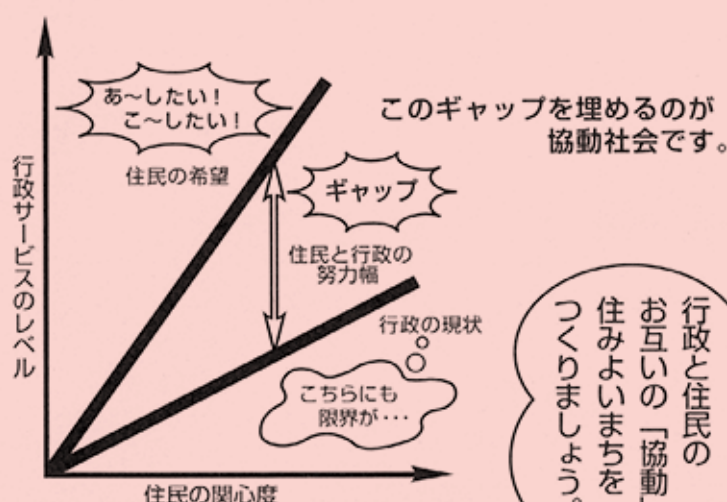
このような事例一つをとって見ても、我々住民一人ひとりが意識改革を行い、積極的に行政とタイアップしていく取り組みが必要なのです。

協働社会を実現

自立したまちを創っていきます。

住民の声が地域を・国を動かす

自分たちの力とアイデアでつくり、育てていくまち。こうした意識改革はすなわち、今後の行政が再び過ちを犯すことがないよう、監視することにも繋がります。そして、この意識をさらに広げ、浸透させていくことで、我々住民の声から、県や市町村を動かし、国を動かすという仕組みを作り上げていかなければなら



りません。そうすれば、昨今の市町村合併を経て、将来導入されるといわれている道州制といった、さらなる激動の時代の中でも、この地域は、老若男女すべての人の笑顔の絶えない地域として生き残っていくことができるでしょう。

信念のある政治家をこのまちから。



白石康明

なつの元志後援会
大門支部長

早いもので夏野元志さんが県議に当選され、満3年が過ぎました。私は元志さんの父上の後援会の大門支部幹事長として、いろいろとお手伝いをさせていただいていました。元志さんのことはその当時から高校の後輩として存じ上げていましたが、お付き合いを重ねるたび、これからの政治家として多くの望みを託すことのできる逸材だと感じておりました。

当選後のご活躍は皆様ご存知の通りですが、私が特に感心したのは、県政報告会で各自治会を回られた時の熱心な態度や発言の内容です。これは申すまでもなく住民に強い印象を与えられ、ファン、支持者を増やすことにつながり、その後も期待通り、大きく成長されました。

今後も政治家として、ご自身の名の通り、一步一步大きく飛躍され、そして信念をもった政治家としてご活躍されますようお願いいたします。私たち後援会も全面的協力を惜しみません。どうか皆様、今後ともご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。